

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

至 宇都宮

石 橋 町

國 道 十 号 線

東 北 本 線

東 北 新 幹 線

上 三 川 町

送 電 線

石 橋 町

五 天 八 六 (株)

町 界 区 域 界

申 請 地 河 内 郡 上 三 川 町 大 字 多 岐 字 南 限 994-4

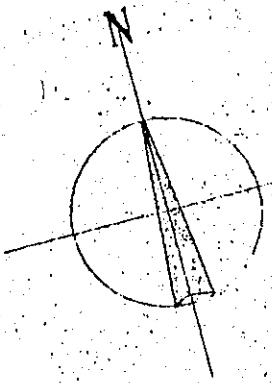
園 分 寺 町

自 治 医 科 大 学

南 河 内 町

案 内 図

至 小 山



ボーリング柱状図

調査名 (仮)栃木県立下都賀東部地区高校 管理特別教室棟その他新築工事 孔番 No. 16.2 地盤高 +0.160 m

調査場所 河内郡上三川町多功字南原994-4 (基準面 KBM±0.0m)

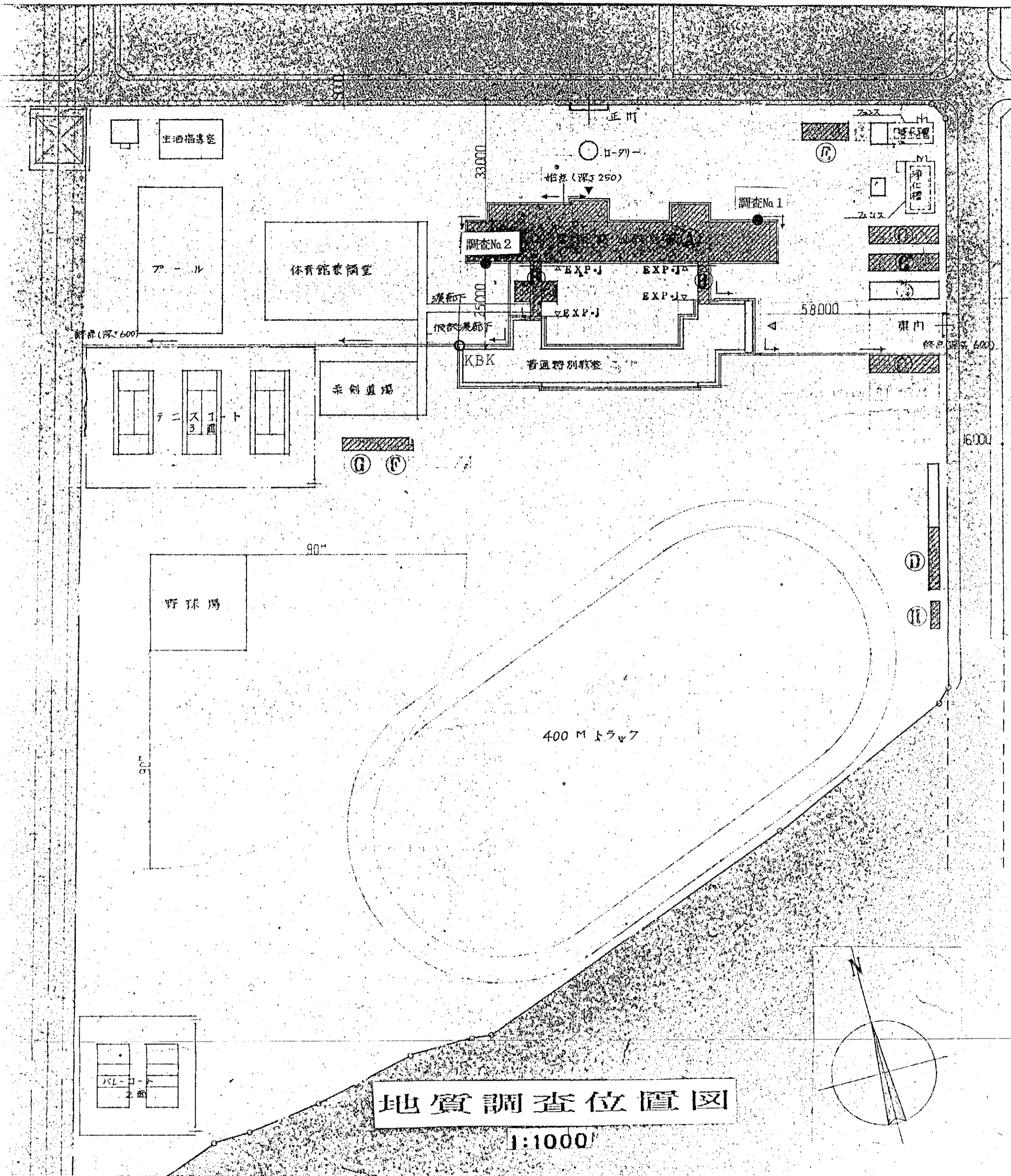
地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和58年/2月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL -4.50m

調査担当者 _____

標地下水位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	資料		打撃回数 10cm毎	原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打撃回数											
					色調	相対密度		番号	記号			0	10	20	30	40	50	60	70				
		1.35		ローム	暗褐		上位10cm位盛土	2		1.2.1	1.15 1.65	4											
	1.33	0.40		鹿沼土	黄褐		含水あり			1/30	2.15 2.45	1											
	1.75			粘土ローム	茶褐		粘性弱干あり 有機物少量混る			1/20.1	3.15 3.45	2											
													1.1.1.	4.15 4.45	3								
													3	1/30.	5.15 5.45	1							
	6.10	4.35		砂礫	茶褐		礫径5~30cm位 砂との互層状を 呈す最大60mm 位, 含水多い			6.10.11.	6.15 6.45	27											
													4	5.6.6	7.15 7.45	17							
	8.20	2.10		中砂粗砂	茶褐		凝灰質 所々礫介在あり 含水多量			5.3.5	8.15 8.45	13											
													5	5.4.7.	9.15 9.45	16							
				中砂	茶褐		礫まばらに混る			4.4.4.	10.15 10.45	12											
	11.50	3.70											6	5.4.2.	11.15 11.45	11							
	12.75	1.25		砂質シルト	茶灰		固結質を呈する 所あり			4.8.15	12.15 12.45	25											
													7	4.6.7.	13.15 13.45	17							
	14.00	1.25		微粒砂	黒灰		粘土質 砂分多い;			13.11.14.	14.15 14.45	38											
	14.60	0.60											8	2.2.9	15.15 15.45	13							
	15.90	1.30		中砂	黄灰		小礫介在			2.9.11	16.15 16.45	22											
	16.45	0.55											9	30.20/	17.15 17.32	59/17							
				砂礫	褐灰		薄層に中砂挟む 礫径10~50mm			40.10/	18.15 18.28	59/13											
	19.39												10	23.17.10/	19.15 19.39	59/64							



地質調査位置図

1:1000